

岩手県感染症週報

平成18年第50週（12月11日～12月17日）

岩手県結核・感染症情報センター

第50週の概要

- 1 類感染症
- 2 類感染症
- 3 類感染症



・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

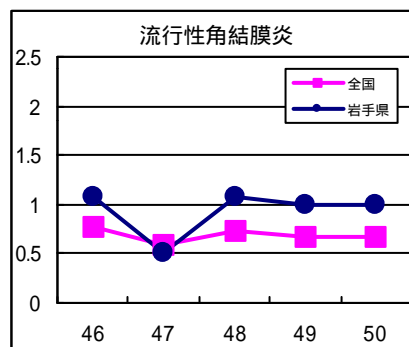
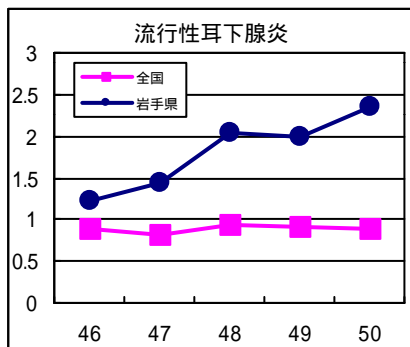
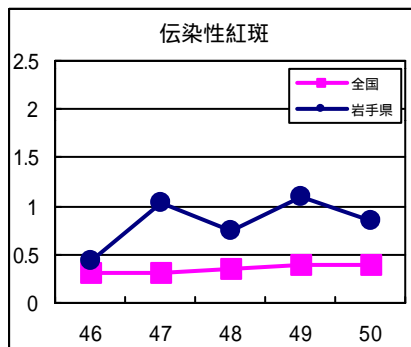
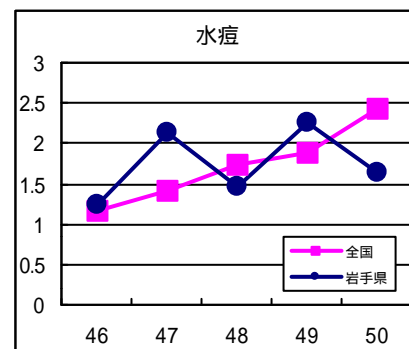
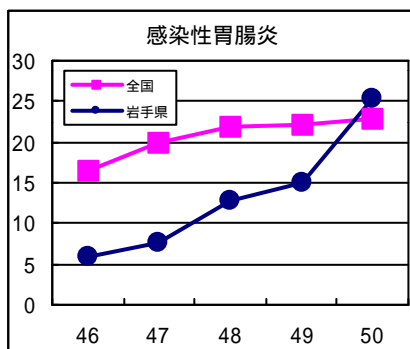
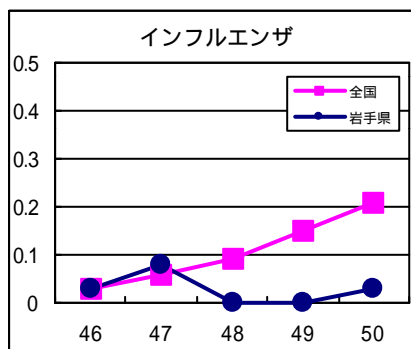
・患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・感染性胃腸炎は、大幅に増加し、昨年の同時期に比べ2倍以上の患者報告数となっています。県内の多くの地区では警報値（定点あたり患者数20人）を超え、ノロウイルスによる集団感染事例や食中毒が相次いでいます。予防には、食事前、帰宅後や汚物処理後の石けんを用いた十分な手洗いを徹底することが重要です。患者の汚物を処理する際には、使い捨て手袋とマスクを着用し、汚物を新聞紙等で拭き取った後、50から200倍に薄めた塩素系漂白剤で湿らせた紙タオルで汚染場所を覆い、10分程度経ってから水拭きすることが有効です。また、調理器具等の洗浄、消毒を充分に行うとともに、下痢や嘔吐等の症状がある場合は、食品を取り扱う作業をしないことが重要です。
- ・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、奥州地区で患者数の多い状態が続いています。任意接種ですがワクチンにより予防が可能です。
- ・伝染性紅斑（りんご病）は、奥州及び一関地区で患者数が多い状態が続いています。
- ・インフルエンザは、盛岡及び一関地区より患者が報告されました。早めに予防接種を済ませることをお勧めします。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		46	47	48	49	50		
インフルエンザ	岩手県	0.03	0.08	0	0	0.03	→	
	全国	0.03	0.06	0.09	0.15	0.21		
RSウイルス感染症	岩手県	0.03	0.08	0.23	0.26	0.05	→	
	全国	0.16	0.21	0.36	0.63	0.84		
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.03	0.08	0.05	0.13	↗	
	全国	0.33	0.35	0.43	0.48	0.56		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.1	1.05	0.97	1.05	1.15	→	
	全国	1.75	1.76	1.95	2.14	2.45		
感染性胃腸炎	岩手県	5.97	7.64	12.74	14.92	25.23	↗	
	全国	16.42	19.83	21.77	22.16	22.81		
水痘	岩手県	1.23	2.13	1.46	2.26	1.64	→	
	全国	1.17	1.41	1.73	1.89	2.43		
手足口病	岩手県	0.36	0.44	0.56	0.72	0.62	→	
	全国	0.55	0.52	0.5	0.54	0.46		
伝染性紅斑	岩手県	0.44	1.03	0.74	1.1	0.85	→	
	全国	0.31	0.32	0.36	0.39	0.4		
突発性発疹	岩手県	0.44	0.23	0.54	0.36	0.64	→	
	全国	0.61	0.6	0.62	0.59	0.6		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0.15	0.15	0.21	0.21	→	
	全国	0.05	0.04	0.04	0.03	0.03		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.23	1.44	2.03	2	2.36	↗	
	全国	0.9	0.81	0.93	0.91	0.9		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.03	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.08	0.5	1.08	1	1	→	
	全国	0.77	0.59	0.73	0.67	0.68		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.03	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.04	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.7	0.65	0.95	0.8	1.05	↗	
	全国	0.69	0.58	0.61	0.57	0.64		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		46	47	48	49	50		50	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	38
	細菌性赤痢	0	0	2	0	0	2	8	351
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	56
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	20
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5	0	0	0	0	88	49	3718
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	43
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	214
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	13
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	16
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	2
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	5	14	334
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	46
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	44
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	ハンタウイルス肺炎候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	4
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	2	
マラリア	0	0	0	0	0	1	2	52	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	11	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	1	0	0	0	6	4	403	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	24	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	12	556
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	1	215
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	1	0	83
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	11
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	127
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	76
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	3	13	967
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	72
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	9
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	1	0	6	7	467
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	104
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	60

今注目の感染症

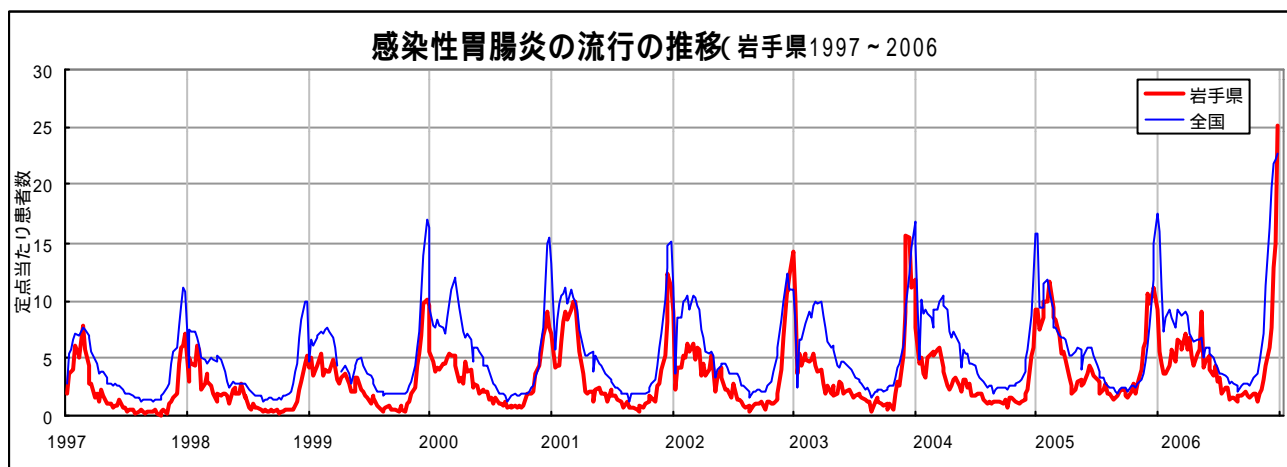
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、毎年冬季に流行が見られる。今年は例年を超える患者報告数となっており、県内各地でノロウイルスによる集団感染事例や食中毒が報告されている。

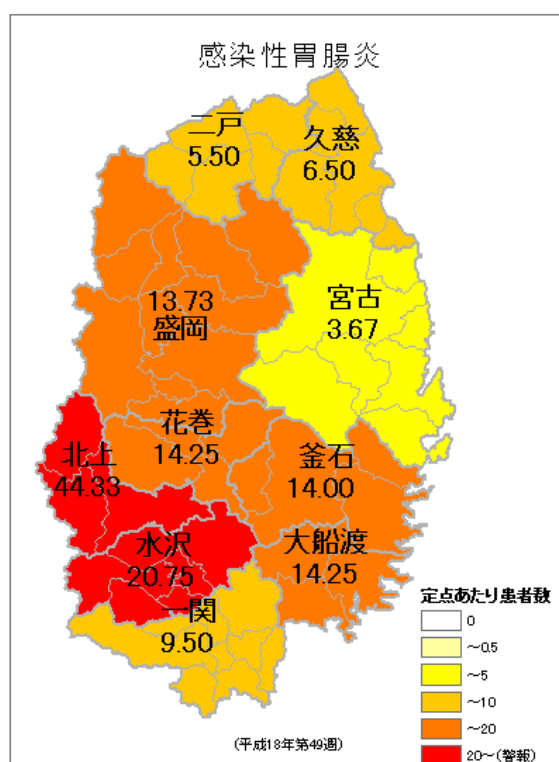
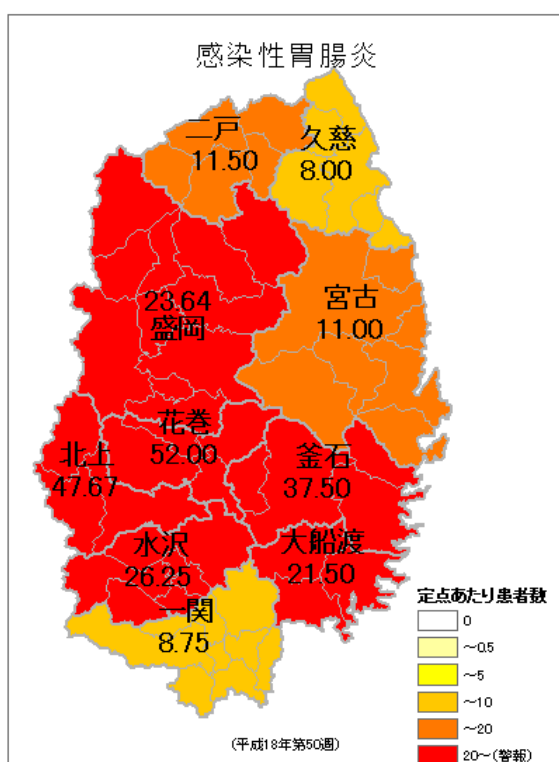
ノロウイルスの感染経路は、（１）ノロウイルスに汚染されたカキ等の二枚貝を生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合、（２）ノロウイルスに感染した食品取扱者により汚染された食品を食べた場合、（３）患者の糞便や嘔吐物等から二次感染をする場合、等がある。

患者の糞便や嘔吐物には、大量のノロウイルスが含まれていることがあるので、汚物処理時の手袋やマスクの着用、汚染場所の消毒、十分な手洗いが重要である。消毒には50～200倍に薄めた塩素系漂白剤が有効である。

また、調理器具の洗浄・消毒や、有症時の食品の取り扱いには注意が必要である。



感染性胃腸炎の定点あたり患者数（左：第50週、右：第49週）



病原体検出情報

- ・この週に検出した病原体はありません。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

感染性胃腸炎の集団発生について

- ・いずれも原因はノロウイルス
- ・平成18年1月以降の感染性胃腸炎集団発生件数：25件（ノロウイルス24件、ロタウイルス1件）

市町村	施設（入所者数、職員数）	期間	有症者数（入所者数、職員数）
一戸町	老人保健施設（68名、49名）	12月5日～12日	43名（32名、11名）
盛岡市	障害者福祉施設（50名、33名）	12月6日～13日	17名（13名、4名）
花巻市	認知症対応型共同生活介護事業所（9名、8名）	12月8日～13日	9名（5名、4名）
盛岡市	ホテル	12月11日～13日	53名
盛岡市	病院	12月14日～20日	51名
盛岡市	病院	12月11日～20日	89名
盛岡市	病院	12月10日～20日	53名

食中毒の発生について

- ・いずれも病因物質はノロウイルス

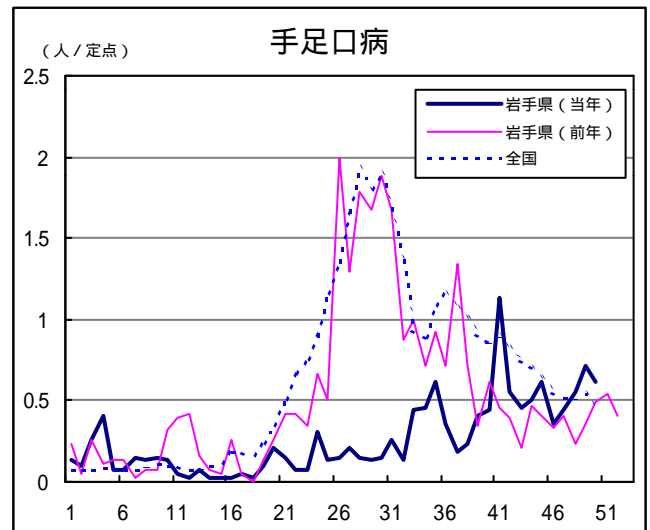
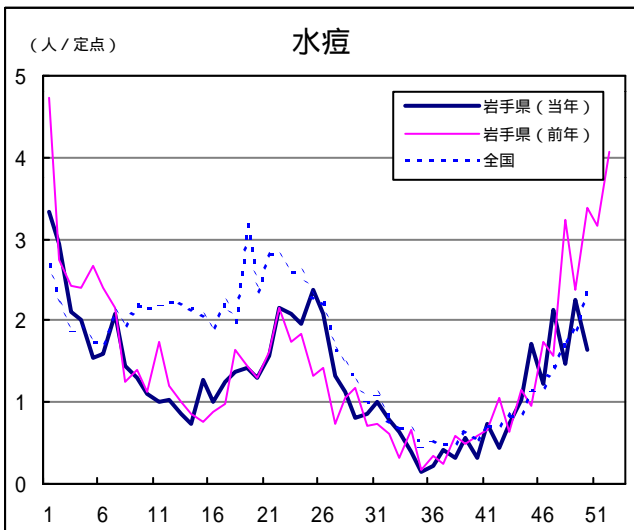
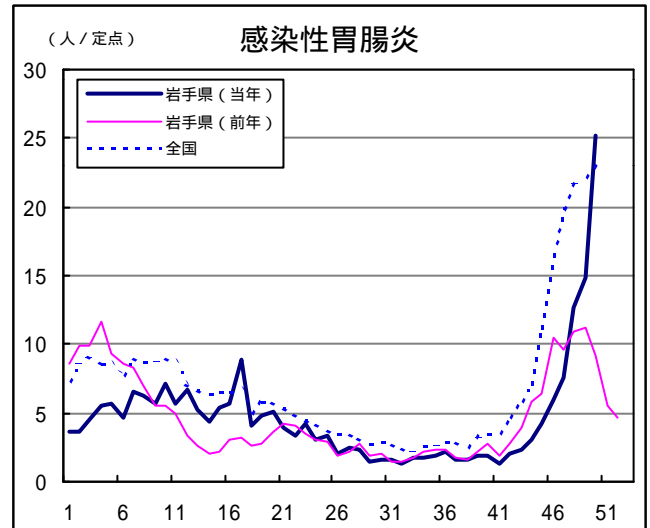
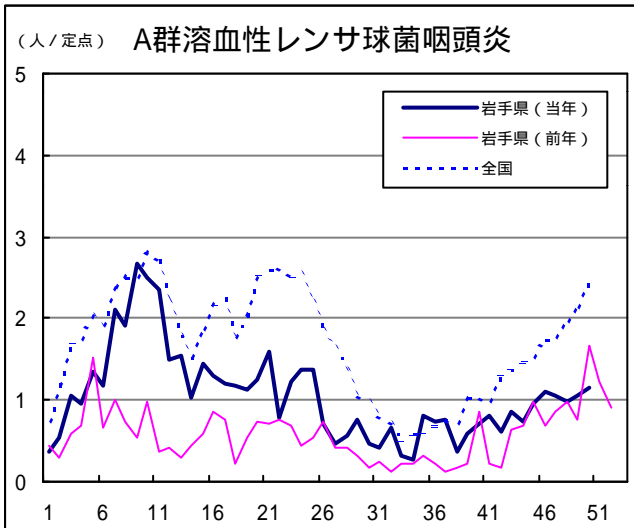
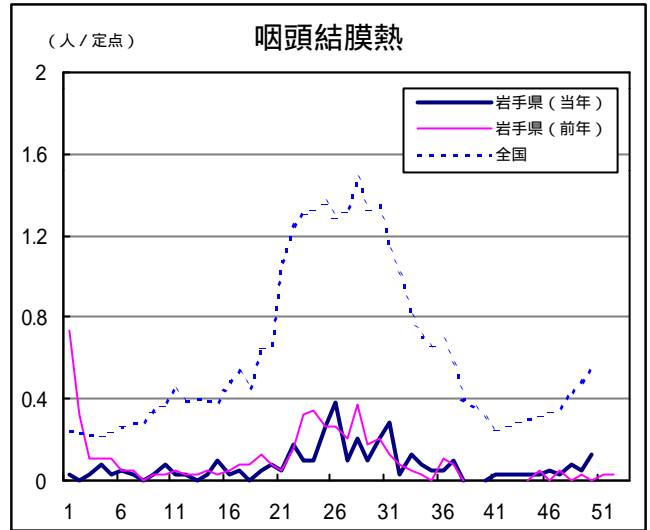
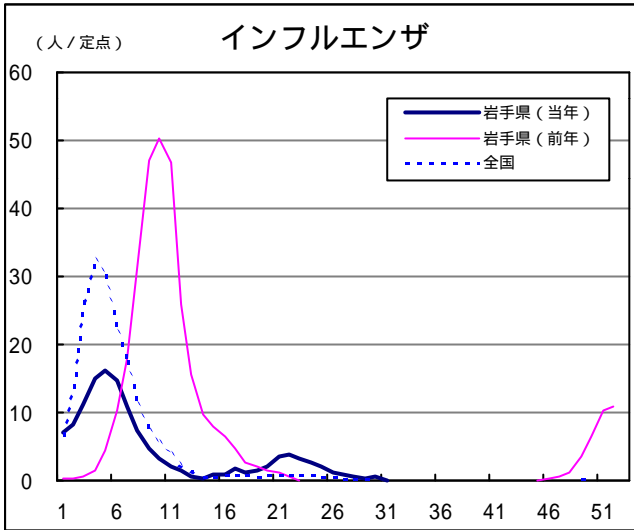
市	原因施設	初発月日	原因食品	有症者
盛岡市	集団給食施設	12月14日午前7時	12月13日の朝食	15名
二戸市	飲食店	12月16日午前6時	飲食店の料理	2グループ7名

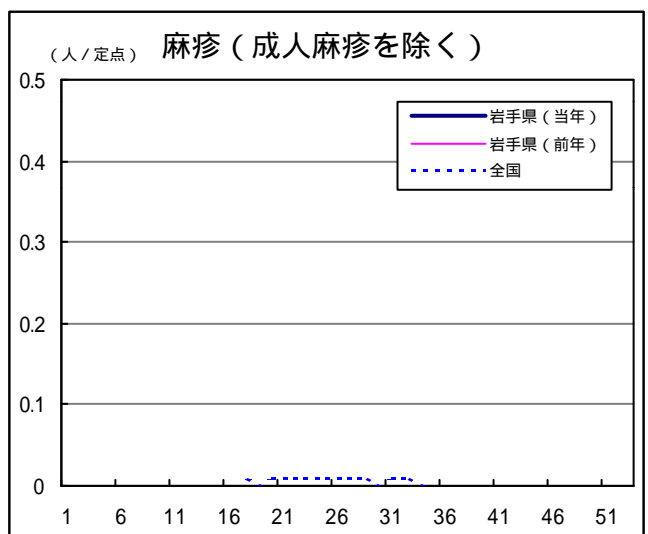
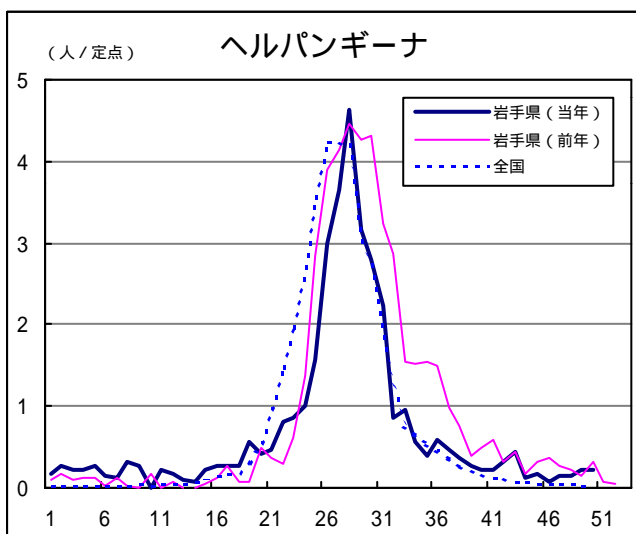
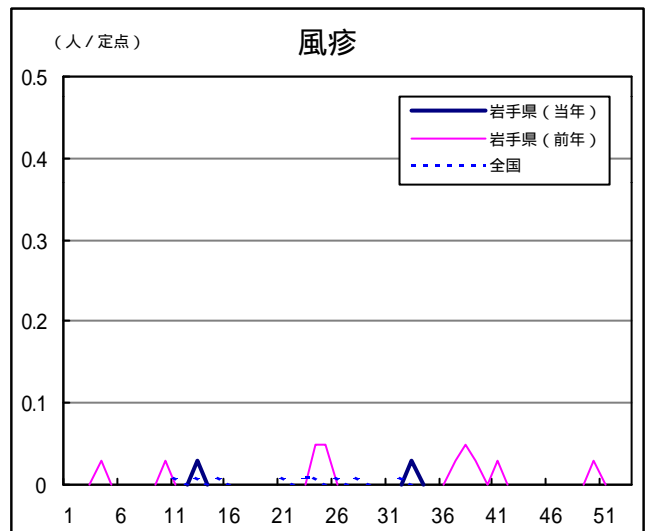
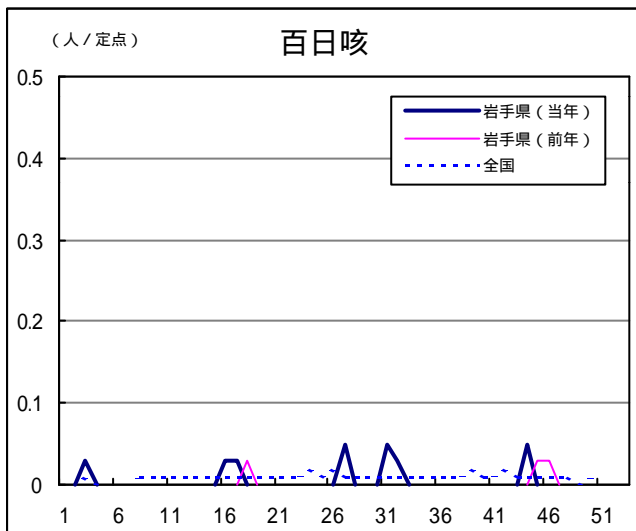
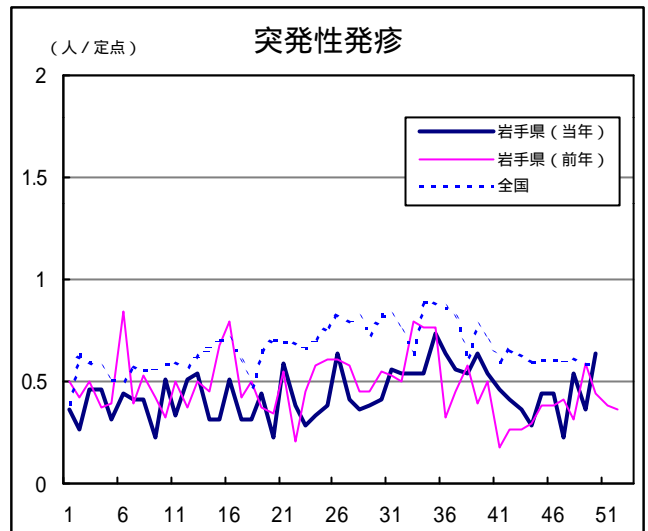
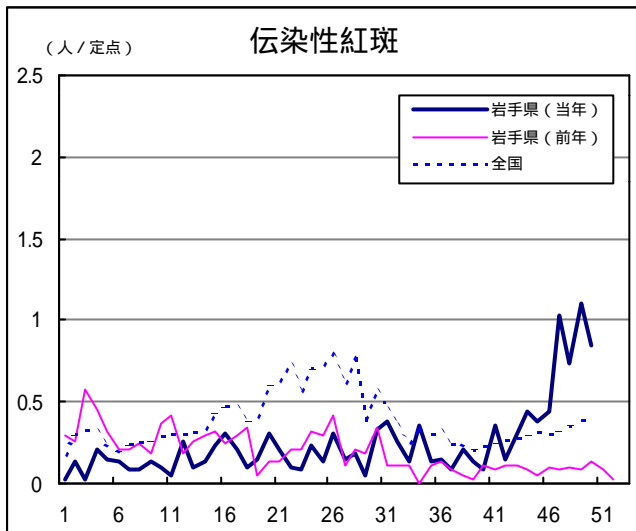
Q & A

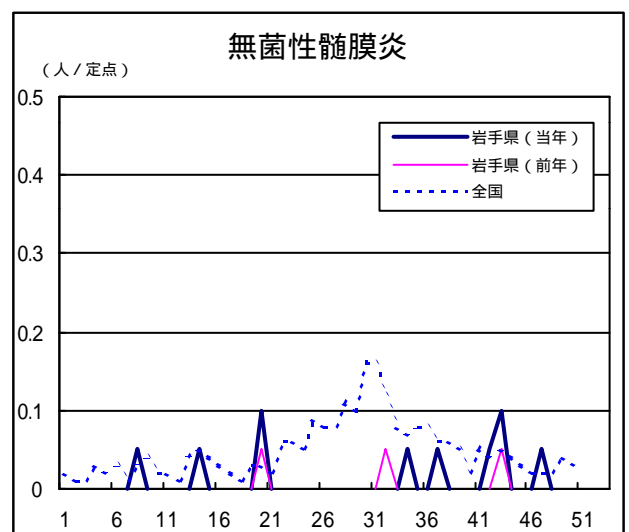
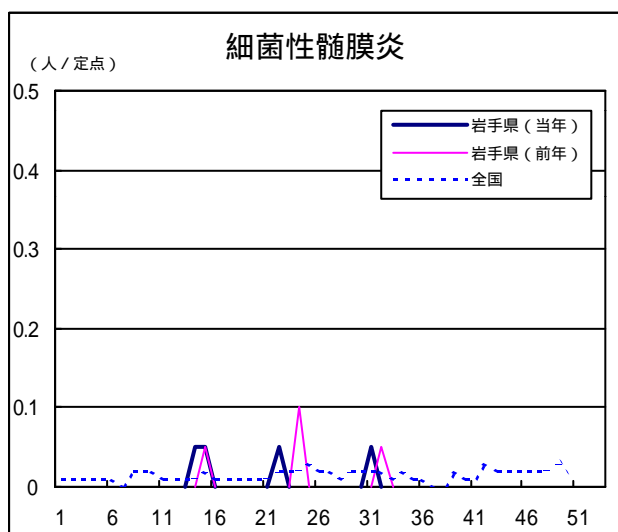
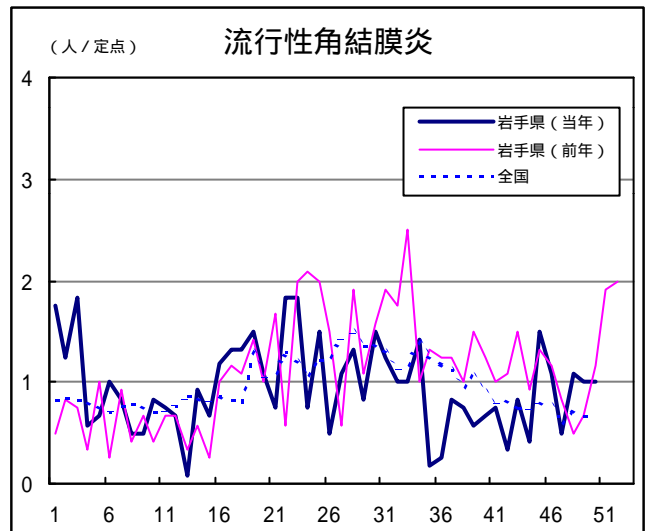
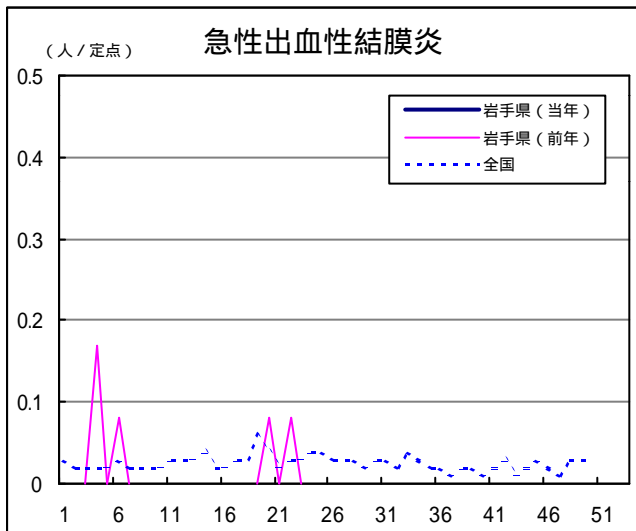
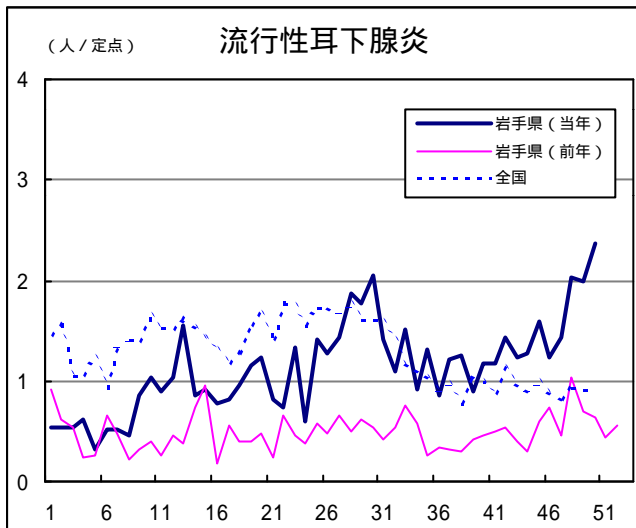
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

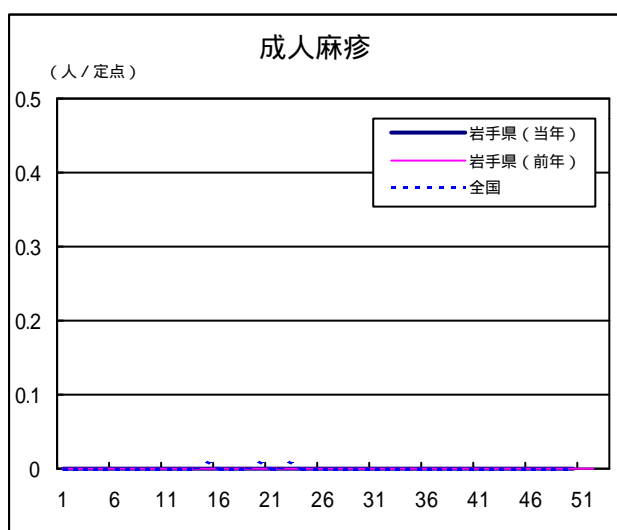
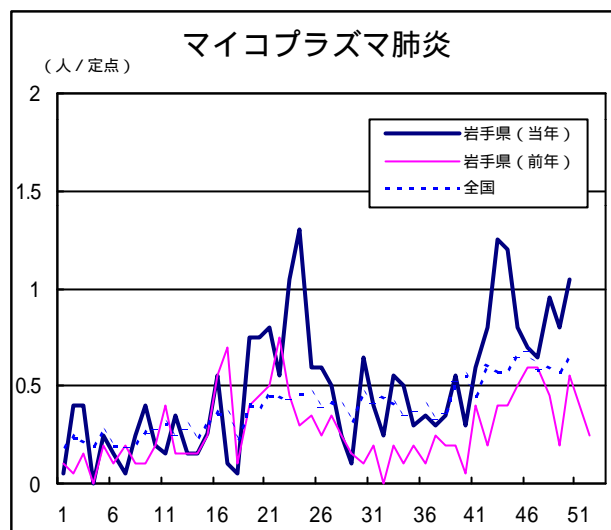
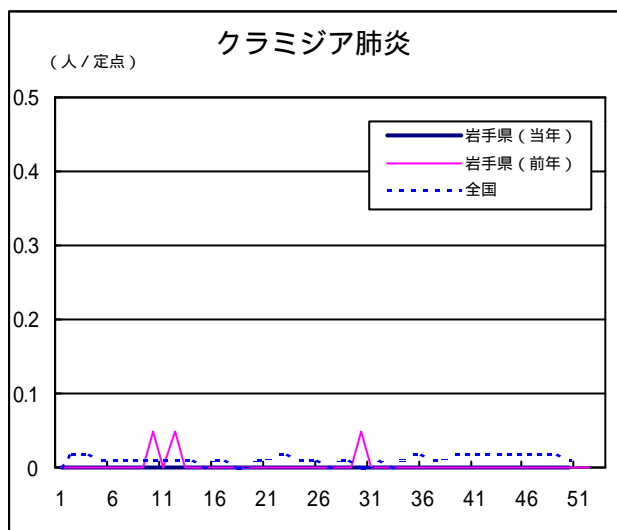
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	7	4	1	3
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第50週 平成18年12月22日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>